

事務事業チェックシート

評価年度	H24	H25	H26	対象外
	○			

事務事業No 576 事業名 水質等規制管理事業（公共下水の水質等）

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	下水道事業特別会計		
	款	下水道事業費		
	項	下水道管理費		
	目	下水道管理費		
	大事業	下水道管理事業		
事項	水質等規制管理事業			

分野別目標	4	自然環境と都市基盤が調和した快適なまち
政策	4	自然環境・資源循環型社会の形成
施策	1	生活環境の保全
取組	2	水環境・土壌環境の保全

事業種別	継続	主な事務事業	○
事業期間	永年		
関連個別計画			
担当課・担当課長 (Tel)	終末処理場管理課	吉田 孝(447-3331)	
関連課			

「3つの磨き」との関連性

「市民力を磨く」		「基盤力を磨く」		「観光力を磨く」		該当せず	○
コミュニティーの充実		メリハリある都市づくりの充実		史跡和歌山城の充実			
市民の健康環境の充実		道路・公共交通網の充実		海を生かした観光シフトの充実			
総合的な子育て環境の充実		総合防災体制の充実		美味しい和歌山市イメージの充実			
その他		その他		その他			

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする）ための事業か	事業内容				
	下水道法に定められた工場・事業場を監視規制することにより、公共下水道への悪質排水の流入を未然に防ぎ、終末処理場の放流水質の水質基準遵守を図り、公共用水域の水質保全を推進し、市民の快適な生活環境を確保する。	①供用開始区域内の工場・事業場の調査。 ②法令に基づく届出書の指導・審査・受理。 ③排水処理施設の運転状況などを調査・確認するため工場・事業場への立入。 ④工場・事業場の排水を定期的に水質検査し、下水排除基準に適合しているかを確認。 ⑤違反工場・事業場に対する行政指導及び処分。 ⑥下水道部内から依頼される水質分析。				
実施内容	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	排水の検査及び指導（延検査項目数：5580項目） 届出、報告書等の受理及び審査 水質の調査及び分析等の実施	排水の検査及び指導（延検査項目数：4247項目） 届出、報告書等の受理及び審査 水質の調査及び分析等の実施（延検査項目数：1356項目）	排水の検査及び指導（延検査項目数：3987項目） 届出、報告書等の受理及び審査 水質の調査及び分析等の実施（延検査項目数：1406項目）			

2 事業コスト

	平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算	計画	決算	計画	決算
事業費	12,846	12,781	13,271	10,633	13,392	11,130	12,237	12,237	12,237	12,237
伸び率 (%)	-	-	3.3%		0.9%		-8.6%		0.0%	
人件費	常勤職員	21,675	22,186	21,675	19,954	19,954	16,179	14,328	14,328	14,328
	非常勤職員						1,635	3,028	3,028	3,028
小計	21,675	22,186	21,675	19,954	19,954	17,814	17,356	17,356	17,356	
国庫支出金										
県支出金										
市債										
その他										
一般財源(税等)	12,846	12,781	13,271	10,633	13,392	11,130	12,237	12,237	12,237	12,237
所要人数	常勤職員	2.83	2.9	2.83	2.64	2.64	2.14	1.9	1.9	1.9
	非常勤職員						0.65	1.2	1.2	1.2

3 目標及び実績

		指標名及び達成状況				平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
活動指標	立入件数					年度目標値				
						実績値	244	185	156	
	単位	件	全体目標値		全体目標達成度		年度別達成度			
							実績値			
成果指標	基準適合率（基準適合件数/延検査件数）					年度目標値	100	100	100	100
						実績値	90.2	89.2	89.1	
	単位	%	全体目標値		全体目標達成度		年度別達成度	90.2%	89.2%	89.1%
							実績値			
		全体目標値		全体目標達成度		年度別達成度				

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか	○	急いで取り組む		中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)	○	おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 事業の方向性

方向性	A 計画どおり事業を進めることが妥当	B 1 事業の充実に向けた見直し	担当課評価 (所属長記載)  <b>B 4</b>
	B 見直しのうえで継続	B 2 コスト削減・成果上昇	
	C 終了	B 3 類似事業との統合	
	D 休止	B 4 外部委託導入・拡大	
	E 廃止	B 5 受益者負担の適正化	
		B 6 終期設定	
		B 7 その他効率化	

担当課評価の根拠	水質分析用機器の老朽化に伴う機器の更新にあたり、水質分析業務の方向性を検討する。
「見直し」 「改善」案  ※上記、担当課評価が「B」評価の場合のみ	水質分析業務を外部委託とし、水質分析に係る経費の削減を図り、本事業を規制業務のみとし、更なる工場・事業場の指導・監視に努める。